



市議会だより

http://www.city.shizuoka.jp/000_000260.html



2月定例会日程

2月10日	2月15日	2月16日 17日	2月22日	3月2日 ～7日	3月9日 ～14日	3月18日
本会議 会期決定 議案上程(1)	本会議 質疑(1) 委員会付託(1)	常任委員会 審査(1)	本会議 議案上程(2)(3) 委員長報告(1) 討論(1) 表決(1)(3) 施政方針	本会議 総括質問 議案上程(3) 委員会付託(2)(3)	常任委員会 審査(2)(3)	本会議 議案上程(3) 委員長報告(2)(3) 質疑(2) 討論(2)(3) 表決(2)(3)

※(1)補正予算議案等 (2)当初予算議案等 (3)追加議案

目次

2月定例会、4月臨時会のあらまし、新正副議長の選出など…2面
 代表質問……………2、3面
 個人質問……………4、5面

主な議案……………5面
 常任委員長報告など……………6面
 議員発議による条例制定・改正など……………7面
 賛否一覧、次回定例会のお知らせなど……………8面

2月定例会のあらまし

28年度当初予算案を可決

平成28年2月10日から3月18日までの38日間にわたって、2月定例会を開催しました。

定例会では、27年度補正予算や28年度当初予算などの180件の議案を審議し、2件の陳情を審査しました。

- 2月22日には、田辺市長が施政方針を表明し、
- ・静岡都心における世界レベルの《歴史文化拠点》づくり
- ・清水都心における世界レベルの《海洋文化拠点》づくり
- ・恵まれた自然環境を活かした世界レベルの《健康長寿のまち》づくり
- ・本市に根を下ろした大道芸や演劇・音楽文化の力を活かした世界レベルの《創造都市》づくり
- ・世界レベルで考えて地域で行動する《人》づくり

の5大構想を34年度までの最優先事業と位置付け、これに重点配分を行うなどの28年度当初予算編成の考え方を示しました。

また、施政方針を受けての代表質問と個人質問では、田辺市政2期目1年間の総括を始め、28年度予算編成、静岡市総合戦略のほか、行財政改革や防災対策などを議論しました。

最終日には、各常任委員会における議案審査の結果報告を受け、すべての市長提出議案を全会一致または賛成多数で可決しました。

4月臨時会のあらまし

地方独立行政法人静岡病院 中期計画が認可される

平成28年4月1日から11日までの11日間にわたって、4月臨時会を開催しました。

臨時会では、27年度一般会計補正予算及び静岡市幼保連携型認定こども園の学級の編成、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の2件の市長専決処分を承認し、地方独立行政法人静岡市立静岡病院中期計画を認可しました。

4月第2回臨時会(平成28年4月28日)で新しい議長・副議長を選出しました。



議長
くりた ひろき
栗田 裕之



副議長
みずの としお
水野 敏夫

インターネット議会中継のご案内

市議会ホームページでは、本会議の様子を動画配信しています。本会議ライブ(LIVE)中継のほか、録画映像(VOD)も視聴できます。

【静岡市議会ホームページ 議会中継画面】
http://www.city.shizuoka.jp/000_000269.html

- ライブ中継を見る
LIVE をクリック
- 録画映像で本会議を見る
VOD をクリック
- 録画映像で本会議(総括質問)を見る
総括質問 をクリック

議会中継画面右側に「質問通告書」画面が展開

VOD をクリック

代表質問

海洋文化拠点 形成に向けて

自由民主党 静岡市議会議員団

質問 ※1JAMSTEC(ジャムステック)や水産総合研究センターを清水港周辺に誘致する狙い、それらとの連携強化へのビジョン及び3次総で目指す「海洋文化拠点」形成の意義を問う。

答弁 清水区には、東海大学海洋学部などの研究機関や海洋関連産業の集積など「海」に関連した強みがあるものの、十分に生かされていない。

そこで、その強みを生かし、清水都心における「世界レベルの港づくり」を進めるため、国の機関であるJAMSTECなど2機関について海洋産業による地域イノベーションを目指した提案をしたところである。

この提案を機に両機関との連携は深まっており、本年4月に新設する本市海洋産業イノベーション推進室には、両機関の職員も加わるよう調整を進めている。このような国と地方の協力のあり方は、全国の先駆的なモデルになると考えている。

そして、「働くみなと」清水港に「楽しむみなと」の要素を加え、海



に関する研究・産業・MICEの中心地として世界中から人が集まるよう再生させていきたい。

その他の質問

市長の政治姿勢、28年度の重点事業、28年度の市政運営、桜ヶ丘病院の移転問題、予算編成の基本方針、スペシャリストの育成、静岡市総合戦略の推進、静岡市の活力を高める「攻め」の取組、人づくりまちづくり、コミュニティスクールの現状と今後の取組、交通弱者に対する取組、区役所機能強化など

企業立地の取組方針

新 政 会

質問 企業立地の推進に向け、直接的な立地支援だけでなく、市内で既に操業している企業への成長支援も重要と考えるが市の考えを問う。

答弁 企業立地の促進策には、新たな工場建設等の立地に対する支援と、既に操業している市内企業の成長に向けた支援の2種類がある。

新規立地に向けては、企業訪問等の誘致活動、補助金による財政的支援、用地確保の支援等、いわば直接的な支援に取り組んでいる。

一方、既に市内に立地している企業の定着・成長を促し、設備投資をさらに生み出すよう、企業の成長に対する間接的な支援も重要である。

企業の成長支援には、生産性向上や新製品開発、販路拡大、新分野進出、経営革新へのサポート等があり、これらを通じて、企業が持続的に成長していくことは、地域経済の発展に欠かせないと考えている。

このような支援を一体的に行い、本市への企業の設備投資を広



く呼び込み、事業の定着・拡大を促し、さらに新たな設備投資を生み出す好循環を創出していきたい。

その他の質問

市長の施政方針、リーダーシップ、行財政改革(財政的な課題と対応、アセットマネジメント)、内部統制機能の更なる充実、3次総・総合戦略の具体的施策(歴史都市、文化都市、中枢都市、健康都市、共生都市、防災都市)、若者の投票率向上など

平成28年3月2日、3日の2日間、代表質問を行いました。
代表質問は、4人以上の所属議員を有する会派が行います。
代表質問を行った5会派の主な質問と答弁の要旨を掲載します。

代表質問を含め本会議の様子は
インターネット録画中継(VOD)からご覧いただけます。
http://www.city.shizuoka.jp/000_000269.html

3次総と総合戦略の推進

公明党 静岡市議会

質問 3次総の市民評価はどうか。また、3次総と総合戦略をどのように推進していくのか。

答弁 3次総の策定に当たり、「分かりやすさ」と「市政の身近さ」に配慮した。前者については、市が目指す方向をより多くの人にご理解いただけるよう、政治や行政に関心の薄い人でも市政に興味を持つきっかけとなるような親しみやすい冊子づくりに努めた。一方、後者については、3次総に当事者意識を持っていただけるよう、官民連携に留意した。



これらの取組もあり、市内の大学で3次総を説明した際には、多くの学生から「分かりやすい」「親しみが持てる計画」「市政に関心を持った」等の声をいただき、手応えを感じた。

その他の質問

28年度予算編成、経済対策、アセットマネジメント、新公会計制度、広域連携、職員の人材育成、防災・減災対策、廃棄物処理施設の整備方針、公共建築物等への防犯カメラ設置、不妊治療支援、静岡型小中一貫教育の推進、高齢者施策、障害者支援策、高等教育のあり方、区の機能強化、MICEの推進など

3次総と総合戦略の進捗管理については、外部有識者で構成する評価委員会において、事業の評価と見直しの観点から議論してもらう。そのうえで、PDCAサイクルを回し、「世界に輝く静岡」の実現に至るまでのロードマップをより確実

子育て支援と子どもの貧困対策

共産党 静岡市議会議員団

質問 市民の皆さんが「※2共働き子育てしやすい街ランキング」第1位を実感して初めて、真の第1位と言える。その実現に向け、今後の展開策を問う。一方で子どもの貧困問題が深刻化しており、その対策は。

答弁 ランキングの結果は、市民の皆さんの努力の賜物であり、地域の総力に対する評価であると受け止めている。しかし、これに満足することなく、子育て施策の質と量の拡充や情報発信の強化を図り、切れ目のない支援に努め、「子育てしやすいまち静岡市」が認知され、住みたいまちとして選ばれるよう、今後も取組を進めていく。



子どもの貧困対策は、経済的支援等のもとより、支援を必要とする子どもたちを支援につなぐとともに、生きる意欲を培う場を確保することが重要である。そこで28年度予算に、本市の先進的取組であるスクールソーシャルワーカーの増員や生活・学習支援事業の拡充等を盛り込んだ。

その他の質問

子どもたちのことを第一に

市長の政治姿勢、総合戦略、LNG発電所建設計画、28年度予算編成、マイナンバー、高齢者福祉、国民健康保険、放課後児童クラブ、児童相談所の職員体制、中小企業支援策、農業支援策、リニア新幹線、市営住宅、少人数学級、教員の負担軽減、小中一貫教育、就学援助制度など

歴史文化施設と駿府城発掘調査

静翔会

質問 歴史文化施設の整備について、市民の理解をどのように進めていくのか。

答弁 歴史文化施設の整備に向けた市民の理解や気運の醸成については、これまでも、企画展や関連する講演会を「さきがけ博物館事業」として実施し、積極的に取り組んできた。今後も、近隣中学校をモデルとして駿府城や家康公を学ぶ連携事業の実施や出前講座を行うなど、市民の皆さんに身近な施設となるよう努めていく。



また、発掘調査に留まらず、掘り出されていく天守台の石垣を常に見学できる通路を整備するほか、駿府城の紹介や出土品の速報展示などを行う。全国の多くの城郭ファンが注目する発掘調査を通し

その他の質問

市内外に駿府城の価値を発信することで、観光資源化し集客を図っていく。
市長の政治姿勢と地方創生、3次総における重点プロジェクトの推進、28年度当初予算、オクシズ・しずまへの振興、企業誘致、市立こども園、地域包括ケアシステム構築、津波対策、消防の広域化、清水天然ガス発電所建設計画、市民自治・都市経営、競輪事業、市職員の人材育成・確保など

語句説明

※1 JAMSTEC(ジャムステック)
国立研究開発法人海洋研究開発機構の略称。海洋に関する基盤的研究開発などを行うことにより海洋科学技術の水準の向上を図り、学術研究の発展に資することを目的とした組織。

語句説明

※2 共働き子育てしやすい街ランキング
日経BP社と日本経済新聞社が共同で実施した、首都圏の主要都市と全国の政令市100都市を対象とするアンケート調査をもとに、「日経DUAL」が独自指標でランキングしたものの(27年12月発表)。

総括質問ダイジェスト版を放送中

総括質問のダイジェスト版をコミュニティFMラジオ局「マリンパル」(76.3MHz)及び「FM-Hi!!」(76.9MHz)で放送しています。ぜひお聴きください。
○放送日・放送時間
・総括質問終了後翌週(マリンパル)及び翌々週(FM-Hi!!)の月曜日から金曜日までの5日間
・午後8時から(約1時間の放送です。)
詳しい放送内容は、市議会ホームページ、FMラジオ各局の番組表・ホームページをご覧ください。

お知らせ

視覚障がいのある方のための「声の市議会だより(デージーCD版、カセットテープ版)」と「市議会だより点字版」を作成し、ご希望の方に郵送しています。
ご希望の方は、電話で調査法制課(☎221-1481)まで、お問い合わせください。



※デージーCD版
音声はCDに録音したもので、専用の再生機やパソコンで再生できます。

静岡市のココが聞きたい

個人質問



代表質問の後、13人の議員が個人質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。

400+ (よんひゃくプラス) プロジェクト

質問 官民連携や海外とのネットワーク構築など多くのつながりを生んだ家康公四百年祭を一過性のものとしないうちに行う「400+プロジェクト」の推進について問う。

答弁 商工会議所や久能山東照宮をはじめ民間団体等の積極的な参画により盛況裏に終えた四百年祭を通し市民の皆さんと共有できた郷土の歴史や文化への誇り、歴史文化都市としての可能性、さらには数々の想いを未来へつないでいくことは今を生きる私たちの使命である。

このため、歴史文化のまちづくり施策を総称した「400+プロジェクト」を掲げ、その推進により、家康公が愛したこのまちの魅力を次世代へ継承・発信し、3次総が目指す世界に誇れる歴史文化のまちの実現を図っていく。

草薙地区の将来像

質問 JR草薙駅北側工場跡地への常葉大学新キャンパス開設に伴う草薙地区の目指す将来像と今後の課題を問う。

答弁 3次総において文教地区として位置付けた草薙地区では、教育や住居、商業機能のバランスが取れた質の高いまちづくりを目指し取組を進めている。

新キャンパスが開設されれば、県立大学などの高等教育機関との相乗効果による教育環境の充実や、地域と若者との連携による活力あるまちづくりの一層の加速が期待される。

一方で、学生等の増加に伴い、通学時の安全確保等の課題が生じると予想されるため、引き続き情報収集や、関係機関と連携し、可能な支援策について検討していく。

避難所生活における電気・ガス・水対策

質問 震災時には、避難所となる施設においてもライフラインが途絶え、交通も寸断されることから支援物資の輸送も滞ることが予想される。このような条件下、孤立した避難所生活に必要な電気・ガス・水対策をどのように考えているか。

答弁 電気については、避難所運営に必要な非常用発電機や投光器を備蓄しているほか、一部の施設では太陽光発電設備を整備している。

ガスについては、プロパンガス協会と締結した協定に基づき、プロパンガスやガス器具を調達する。

水については、既に設置してある耐震性貯水槽や給水車などを活用して、給水活動を行う。



質問に答える田辺市長

ふるさと納税に係る体制強化

質問 焼津市では、ふるさと納税課という専門の課を新設するようだが、本市は、ふるさと納税の業務に特化した新たな部署の設置について、どのように考えているか。

答弁 ふるさと納税制度を開始した平成20年1月以降、寄附金の受入業務については、財政課が事務を所管している。今年度の返礼品導入に当たっても財政課が中心となり、観光交流文化局、保健福祉局及び経済局と連携し事業を構築してきた。

専門部署を新設している事例もあることから、今後、ふるさと納税業務の実施状況を踏まえ、必要に応じ、組織のあり方についても併せて検討していきたい。

桜ヶ丘病院の移転

質問 清水庁舎を移転候補地の一つとして検討しているとのことだが、市民理解を得たうえで情報提供するのか。また、現在の清水庁舎の機能をどのように維持していくか。

答弁 これまで、JCHO(ジェイコー)が示した条件に合致する清水区内の土地を市有地も含め幅広く検討し、その結果、清水庁舎を有力な候補地と考えるに至ったところである。

今後、市街地中心部から早急に候補地を選び、JCHOに情報提供したうえで、最終的な判断を求めている。

また、清水庁舎等の市有施設が候補地となる場合には、まちづくりや地域経済の活性化などの観点を踏まえ、市民サービスの低下や市民の皆さんに支障がないよう様々な視点から検討していく。

語句説明

JCHO(ジェイコー)

桜ヶ丘病院を運営する独立行政法人地域医療機能推進機構の略称。

小規模企業振興に向けた市の役割

質問 中小・小規模事業者が地域経済で果たす役割が大きいことが共通認識となってきた中、平成26年6月に施行された小規模企業振興基本法で規定された自治体の責務を、市はどのように果たしていく考えか。

答弁 同法では「地方公共団体は、基本原則にのっとり、小規模企業の振興に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の地域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。」と規定している。

本市の責務は、第2次産業振興プラン(平成27年3月策定)や第2次静岡市ものづくり産業振興基本計画(平成27年7月策定)を着実に実行し、中小企業・小規模事業者を支援していくことであると考える。

病院移転候補地の災害時対応

質問 清水庁舎敷地へ桜ヶ丘病院を移転させた場合、津波被害における重症者の搬送や入院患者への対応等をどのように考えているか。

答弁 小学校等に開設する救護所で対応できない重症者は、自主防災組織等が救護病院や災害拠点病院へ搬送することになっている。

搬送に当たっては、搬送ルートや救護病院等の被災状況に応じた対応が必要であり、津波被害などにより患者を搬送できない場合には、他の救護病院等へ搬送することになる。

一方、入院患者は、津波発生が想定された場合、上層階へ避難させる。

また、非常用発電や医薬品備蓄等の整備により災害時にも救護病院として機能する体制が確保されていると考える。

地域包括ケアシステム

質問 地域包括ケアシステムの構築には、在宅医療と介護の連携が重要である。これを踏まえ、市が28年度に取り組む事業は何か。

答弁 医療・介護資源の充実度に応じた6地域の小学校区を対象に、地域に合った標準ケアモデルを作成する「小圏域における在宅医療推進モデル事業」を実施する。また、必要な知識を身に付けた看護師や社会福祉士等を医師会などに配置する「医療・介護・福祉のスーパーバイザー人材配置事業」を実施し、医療・介護・福祉を総合的にコーディネートし、適切なサービスを迅速に提供していく。

これらにより、医師等の専門職の方々と、自治会等の地域住民の皆さんとの連携や調整機能を強化し、住み慣れた自宅ですずと安心して生活できる地域づくりを推進していく。

清水天然ガス発電所建設計画

質問 住宅地に隣接しての建設が予定されている火力発電所からの排出ガス量はどの程度で、市民生活への影響をどのように考えているか。

答弁 事業者から送付された環境影響評価方法書の想定によれば、3基の発電設備合計出力約170万kWに対し、排出ガス量は1時間当たり666万8千m³Nとなっている。

一方、環境影響評価方法書に関する市長意見では、事業実施区域周辺の住居地域などへの影響を踏まえた窒素酸化物も含む大気質の適切な調査、予測及び評価を事業者に求めた。

さらに、平成28年2月の経済産業大臣勸告においても、事業者に対し、「より詳細な気象観測や大気質予測の検討を行うこと」が指摘されたところである。

語句説明

就学援助制度

公立小・中学校に通う子がいる保護者のうち、生活保護を受けている、または世帯の収入が市の定める認定基準以下である場合、学用品費・給食費などの一部を援助する制度。

子どもの貧困対策

質問 19年度以降の本市の就学援助認定率の推移と、26年度に認定率が市の平均を上回る区ごとの学校数及び最も高い学校の認定率はどのようになっているか。

答弁 就学援助の認定率は、19年度の5.1%から、26年度の8.8%と増加傾向にある。そのうち、小学校の平均値は8.4%であり、これを上回る学校は、葵区で38校中17校、駿河区で18校中8校、清水区で30校中12校となっている。一方、中学校の平均値は9.5%であり、これを上回る学校は、葵区で18校中8校、駿河区で9校中5校、清水区で16校中6校となっている。

また、全児童生徒数が30人未満の学校を除き、最も認定率が高い学校は、葵区の小学校であり、25.3%に達している。

高校生の政治参画の課題

質問 選挙権年齢の引下げに伴い、高校生の政治参画の進め方が課題となる中、文部科学省通知(平成27年10月29日)では「放課後や休日に学校の構内や構外の選挙活動や政治活動を禁止または制限」するとの判断が示された。市はこの判断をどのように考えるか。

答弁 文部科学省通知は、禁止または制限の対象となる政治活動の判断基準として、学校の構外では違法性や暴力性等の有無を、構内ではそれらに加え、施設管理上の問題や教育活動への影響の有無等を挙げている。

この基準の解釈に当たっては、禁止や制限すべき政治活動について、誰が、どう判断を下すかなど学校の政治的中立の維持に係る大変難しい問題もあるため、県教育委員会と連携し、判断基準を検討していく。

今後の学校給食のあり方

質問 学校給食のあり方に関する行財政改革推進審議会答申をどのように受け止めるか。

答弁 行財政改革推進審議会では、自校方式の施設の老朽化、校外調理方式の提供温度等の課題を解決するために、「アセットマネジメント」「安全性」「食育」の3つの視点から審議した。

その結果、「学校給食のあり方」について、「清水地区の自校方式、校外調理方式については、センター方式に統一するよう進めていただきたい」との答申を得た。

この答申を真摯に受け止め、早急にセンター方式に統一するよう学校給食施設の整備を進め、より安心・安全な給食の提供、食育の充実に取り組んでいきたいと考える。

語句説明

アセットマネジメント

計画的な修繕や適切な維持管理による公共施設の延命化、統廃合などによる資産総量の抑制などにより、将来負担の軽減を図り、都市経営上の健全性を維持していく手法。

語句説明

がん教育

健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識を持たせることを目的とした教育。

がん教育の推進

質問 全国的にがん教育を実施する自治体が広がりを見せる中、文部科学省においても29年度からのがん教育の全国展開を目指し検討を行っていると聞く。市においてがん教育導入の予定はあるか。

答弁 平成24年6月に閣議決定されたがん対策推進基本計画に基づき、文部科学省では、がん教育総合支援事業として、モデル校等で多様な取組を実施するとともに有識者による検討会を設置し、今後のがん教育推進に向けた検討が進められている。

本市では、健康教育の中でがんについて取り上げているが、児童生徒のがんやがん患者に対する理解をさらに深めるためにも、今後展開される先進事例を参考にごがん教育の導入について検討していきたい。

主な議案

2月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。

3次総の更なる推進と総人口70万人維持に向けた当初予算

○平成28年度静岡市一般会計予算

3次総の更なる推進と総人口70万人の維持を目指し、財政規律を堅持しながら事業を強力かつ円滑に推進する必要があるため、「第3次総合計画及び静岡市総合戦略に沿った予算の重点配分」「行財政改革推進大綱の着実な実施」「アセットマネジメントの着実な推進」「国の交付金や有利な市債の積極的な活用」「市債残高の適正管理」という方針のもと、平成28年度当初予算を編成しました。

一般会計の予算規模は2,822億円で、前年度に比べ3億円、0.1%の減となっています。

これは、消防広域化による職員給与費の増などにより、人件費が前年度に比べ約16.5億円、3.5%増加したものの、静岡市民文化会館などの利用料金制移行に伴う委託料の減などにより、物件費が前年度に比べ約12.1億円、3.3%減少したこと、徳川家康公顕彰四百年記念事業や子育て世帯臨時特例給付金給付事業が終了したことなどにより、補助費等が前年度に比べ約5.3億円、2.7%減少したことなどによるものです。

一億総活躍社会の実現

○平成27年度静岡市一般会計補正予算

国の「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策」に呼応して、地方創生加速化交付金を活用した事業や、年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業に要する経費などの増額を計上するとともに、財政調整基金積立金の増額のほか、職員給与費等の減額を計上しました。

この結果、補正予算の総額は、約20億円の増額となり、補正額を加えた累計予算額は、約2,894億円となります。

若者の定住促進

○静岡市遠距離大学等通学費貸与条例の制定について

遠距離にある大学等への通学に要する資金を貸与し、若者が市内で生活し市民及び地域社会と関わる機会を増やし、若者の定住の促進及び地域社会を担う人材の確保を図り、活力ある地域社会の実現に資するため、本条例を制定しようとするものです。

芸術文化及び歴史文化の振興

○静岡市創造及び交流によりまちの活力を生み出す文化の振興に関する条例の制定について

芸術文化及び歴史文化に代表される本市の文化の振興に関し、基本理念を定め、市民、文化団体、事業者、教育機関及び市の責務を明らかにするとともに、文化の振興のための施策の基本となる事項を定めることにより、総合的かつ持続的な文化の振興を図り、もって個性豊かな文化の創造及び文化を活かした交流による活力あふれるまちづくりに寄与するため、本条例を制定しようとするものです。

4月臨時会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。

静岡病院の独立行政法人化

○地方独立行政法人静岡市立静岡病院中期計画の認可について

平成28年4月、静岡市立静岡病院が独立行政法人化することに伴い、「静岡市と静岡病院が連携して、市民が必要とする高度で良質な医療を安定的、継続的に提供する」という中期目標を定めました。

この目標を達成するため、市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上、業務運営の改善及び効率化、財務内容の改善、その他業務運営に関する重要事項に関してとるべき措置を定めた中期計画の認可を求めるものです。

常任委員長報告

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。各常任委員長報告における委員の意見や要望の主なものは次のとおりです。

総務委員会

- *「世界に輝く静岡」の実現のために、3次総、総合戦略を始めとする各種事業を局間連携により着実に推進すること。
- ***防災対策**について、引き続き万全な対策を進めるとともに、「津波リスク分析シミュレーション」をより実効性ある津波対策につなげること。また、教育委員会と連携した防災教育事業に取り組み、子どもたちの安全確保に努めること。
- ***静岡市・旧蒲原町合併10周年記念式典事業**を住民に対し、広く周知すること。
- ***人口減少対策事業**として、新規の「新幹線通学資金貸与事業」に加え、市内大学との横断的な組織づくりや学生と企業とのマッチングなど市内就職への支援の充実、市民への情報発信の強化に努めること。
- ***静岡市及び焼津市における連携中枢都市圏形成に係る連携**については、焼津市側の意向にも配慮した上で進めること。
- *今後見込まれる**消費税増税の影響を最小限に留める**ため、早期設計と早期発注に注力し、繰越の縮減に努めること。また、地域経済活性化の観点からも小規模企業への発注を増やす対策に努めること。
- ***滞納整理、収納対策**について、納税者の生活実態に根差したきめ細かい対応を求める。
- ***18歳選挙権**に向けて、啓発活動に対する検証をするとともに、高齢化の観点も含め、投票所のあり方等の検討を求める。

市民環境教育委員会

- ***森下小学校新校舎建築工事設計業務委託**における事務事業事故の再発防止に全力で取り組むこと。また、新校舎の完成が遅れることになるが、学校関係者や保護者などにきめ細かく説明を行うなど、誠意をもって対応すること。
- *地域住民と向き合っ、行政の考えを伝えるとともに、住民の声にも耳を傾けて**地域コミュニティ**の充実に取り組むこと。
- *施設の維持管理に多額のコストを要する**清掃工場**については、長寿命化を図るとともに、有害物質排出等のトラブルが発生することのないよう万全を期すこと。
- ***清掃工場で発電した電気の売り払い先業者の選定**に当たっては、リスク把握など事業全体の管理を徹底したうえで進めること。
- ***南アルプスユネスコエコパークの自然環境を守る**ため、環境破壊の懸念が払拭できない状況では着工させないという強い姿勢で、中央新幹線建設事業者との工事協定や環境保全協定の締結等を検討すること。
- ***コミュニティ・スクール研究推進事業**や**学校応援団推進事業**については、学校と市民局、地域とが十分な情報共有を行い、連携して実施すること。
- ***校舎等改築・補修事業**や**トイレリフレッシュ事業**、**校務支援システム整備事業**については、スケジュール管理を徹底し、遅滞なく進めること。
- ***子どもの貧困問題**は学校だけでは解決できないため、スクールソーシャルワーカーの増員やネットワークの拡大により、総合的に支援の充実を図ること。

厚生委員会

- ***静岡型地域包括ケアシステムの構築**に向け、28年度は、推進本部が組織され、今後の方向性を定める非常に重要な年になるが、他部局や医師会、介護事業者とも連携し、他都市の模範になるようなものを目指すこと。
- ***障害者就労施設**からの市の調達実績が増えてきたことを評価する。今後は安定した仕事の供給につなげていただきたい。
- ***待機児童の解消**に向けた認定こども園への移行などに関し、私立幼稚園に丁寧な説明を行うこと。
- ***ひきこもり対策推進事業**について、「静岡市ひきこもり地域支援センターDan Danしずおか」の開設から1年となるが、家庭訪問などの施設外における活動の強化と、支援スタッフの裾野を広げるなど更なる拡充を求める。
- ***子どもの貧困対策推進事業**について、学習支援のニーズが非常に多く、拡充したものの、まだ、多くの子どもに支援が必要であると考えられるため、各種団体とも連携しながら、実態の把握と更なる支援の拡充を図ること。

企業消防委員会

- ***静岡病院の地方独立行政法人への移行**に当たっては、万全の準備の上、市民の期待に応えるよう運営し、今後の病院のあり方の手本となる病院経営を行うこと。
- ***清水病院の運営**について、医師・看護師等の確保や、病棟の改修、医療機器の整備など、引き続き、経営改善に取り組むこと。
- ***消防団員確保対策事業**について、地域社会や民間企業、学校などと連携して幅広い取組を継続するとともに、女性消防団員の入団促進に向けて、啓発活動と併せて、受け入れる消防団側の意識改革も行うこと。
- *28年度から、3市2町での**消防救急が広域化**するが、引き続き、様々なケースを想定し、万全の体制で市民の安全・安心を守っていくこと。
- ***上下水道局の業務の専門性や技術の継承**などを考慮して、職員採用を含む局内の人事や、契約事務など、本市の他の行政組織から独立した体制を構築する必要性も視野に、**今後の組織のあり方**を検討すること。
- ***上下水道施設**は、日常生活を支える一連のライフラインであるため、耐震化・浸水対策を計画的に進めること。また、鉛製給水管の更新については、計画を前倒して実施すること。
- ***上下水道事業における広報**について、静岡市水のキャラクター「しずみい」を生かし、コーポレートメッセージやロゴマークなど一連のイメージで結びつけ、戦略的かつ効果的なPRに努めること。

観光文化経済委員会

- ***朝鮮通信使の韓国釜山市や台北マラソンの台湾台北市**など、文化、スポーツ、経済など様々な面で新たに関わりが深くなっている都市も多いため、**姉妹都市の見直し**や交流のあり方について検討すること。
- *見える化による観光資源化を目指している**駿府城天守台の発掘調査**については、メディアからの注目が集まるような見せ方や、訪れた人が飽きない仕掛け等を工夫して進めること。
- ***日韓ワールドカップにおけるロシアチームのキャンプ誘致がレニングラード動物園からのロツシー無償貸与につながったこと**を踏まえ、**東京オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ宿泊等**について、将来の国際交流も見据えた戦略的な誘致活動を推進すること。
- *本会議でもエスパルスのユニホームを着て応援をしたが、**ホームタウン事業の推進**に全庁を挙げて取り組むこと。
- ***企業立地にかかる各種事業**については、新規、拡充の助成メニュー等を企業に周知するとともに、関連部局と連携し、企業立地用地の確保や秩序ある土地開発を行うこと。
- ***清水港ウォーターフロント賑わい創出事業**について、中部横断道の開通に合わせて、更なる賑わいの創出や回遊性の向上を図り、清水港の利用促進と海づり公園の代替施設再整備を早期に推進すること。
- ***青年就農の推進や担い手の育成支援**について、新規就農者が安定した収入を得るための継続的な支援と、法人への助成や農地の集約、大規模化を促進する施策を推進すること。
- ***農業委員会制度が改正**されることにより、農地利用の高度化や各地域にあった最適な農業経営が図られるよう努めること。

都市建設委員会

- ***木造住宅耐震補強事業費助成**について、市内には依然として耐震補強をしなければならない木造住宅が多くあるので、耐震補強が必要な住宅への対応はきめ細かく行うこと。
- ***清水都心における、LRT等の新たな公共交通機関の検討**と合わせて、自転車を持ったまま電車に乗れるサイクルトレインや、路線バスへの自転車の積載など、既存の公共交通機関の有効活用も検討すること。
- ***紺屋町地区のモール化**については、関係者と十分な協議を行い、静岡の顔としてのまちなみ整備や、にぎわいづくりに努めること。
- ***道路の安全確保**について、変則的な交差点では重大事故が発生するおそれが高いという指摘や、幹線道路以外の車両通行の多い道路で破損が目立つという地域住民の声があるため、交差点や道路の改良、補修などを確実にを行うこと。
- ***巴川流域の治水事業の推進**により地域の治水安全性が向上している。今後とも、県と市が連携して効果的な対策を進めること。

常任委員会が変わりました

市の組織機構改正及び市立静岡病院の独立行政法人化に伴い、平成28年4月1日から常任委員会の所管事項が一部変わりました。

委員会名	所管事項
総務委員会	総務局、企画局、財政局、他の常任委員会の所管に属しない事項
市民環境教育委員会	市民局、区役所、環境局、教育委員会の所管に関する事項
厚生委員会	保健福祉長寿局、子ども未来局の所管に関する事項
観光文化経済委員会	観光交流文化局、経済局、農業委員会の所管に関する事項
都市建設委員会	都市局、建設局の所管に関する事項
企業消防委員会	上下水道局、消防局の所管に関する事項

会議を傍聴してみませんか

市議会の会議は簡単な手続きで、どなたでも傍聴していただくことができます。本会議は静岡庁舎本館4階傍聴席にて開催時刻の30分前から受付をしていますので、ぜひお越しください。

次回定例会の予定は8面に掲載しています。

その他詳しくは調査法制課(☎221-1481)までお問い合わせください。

平成27年度 本会議傍聴者数

本会議傍聴者数	4月臨時会	6月定例会	9月定例会	11月定例会	2月定例会
	2人	149人	142人	95人	309人

議員発議による条例制定・改正

静岡市いのちを守る防災・減災の推進に関する条例

2月定例会最終日となる3月18日に「静岡市いのちを守る防災・減災の推進に関する条例」を制定しました。

この条例では、「自助」「共助」及び「公助」による災害に対する備えの重要性を再確認し、それぞれの自発的な取組と十分な連携を求めることで、災害発生時により多くのいのちを守ることができるよう規定しています。

この条例制定が皆さんの自発的な防災・減災に備えた行動につながっていくことを期待しています。



静岡市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

市議会議員は、住民に選ばれた代表者として、住民福祉の向上や市の発展に向け活動をしています。このため、刑事事件で逮捕、拘留されるなど、身体を拘束され、その職責を果たすことができない場合には、その期間に係る報酬及び期末手当を受け取らないとするよう、議員自らの発議により条例改正しました。

静岡市議会委員会条例の一部改正

市の組織機構改正及び市立静岡病院の独立行政法人化に伴い、平成28年4月1日から常任委員会の所管事項が一部変わることから、条例改正しました。

提言書を提出しました

産業振興策調査特別委員会

本市における茶業、林業、工業、商業関係者との意見交換などを踏まえ、産業振興策への一層の強化を目指すため、「担い手不足の解消」「事業者の頑張る力への支援」「専門職員育成や庁外連携強化等、提言実現に向けた基盤整備」の3項目の提言をまとめ、4月12日に市長へ提出しました。



観光・交流事業調査特別委員会

3次総で観光・交流分野の目標として定めた「国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまちの実現」を達成するため、「静岡らしさの具体的な追求に向けて」「観光関連施設の充実に向けて」「地方創生事業に対応した観光施策の構築に向けて」「観光・交流に関する都市宣言に向けて」の4項目の提言をまとめ、3月28日に市長へ提出しました。



中東和平

イスラエルとパレスチナの学生の皆さんが市議会を訪問されました

平成28年2月定例会初日の2月10日、中東和平（国際交流）プロジェクトの一環として、イスラエルとパレスチナの学生の皆さんが静岡市議会を訪問されました。

このプロジェクトは、イスラエルとパレスチナの紛争等で肉親を亡くした子どもたちを日本に招き、様々な交流をすることで、お互いを理解し、平和への認識を深めてもらうための事業です。

繁田議長が、「この訪問を契機に、皆さんが国際交流、世界平和を目指すリーダーとして歩まれることを期待します。」との歓迎のあいさつを述べたのち、代表者から平和の大切さを訴えるスピーチがありました。



質 疑

質疑とは・・・提案された議案に対して疑問や不明確な点をたずねる発言のこと。

2月15日の本会議で、平成27年度静岡市一般会計補正予算案の質疑を行いました。その一部を抜粋してお知らせします。

森下小学校校舎改築

質問 設計の見直しに伴う継続費の年数及び年割額の変更に至った経緯を問う。

答 弁 26年度、「森下小学校校舎建築工事設計業務委託」において、完了検査に必要な書類が揃っていないにも関わらず、27年3月に合格通知書を発行し、委託料を支払った。その後、27年4月、検査時に不足していた書類が設計受注先から提出され、内容を確認したところ、予算額11億3千万円を大幅に上回る約19億円の建設費になることが判明した。

これを受け、今後行う他の学校の校舎建築事業への影響などを考慮し、予算の増額ではなく、設計を見直すこととしたものである。

これにより、校舎の建設が当初の予定から約10か月遅れることとなり、今回の変更に至った。

質問 本来の工事予算額約11億3千万円に収めるための、設計の主な見直し点は何か。

答 弁 見直しの主なものは、構造形式と建築設備の変更である。

構造形式は、事前に工場で作成したコンクリート部材を製作し、現場で組み立てるプレキャストコンクリート造(PC造)から、現場で鉄筋と型枠を組み立て、コンクリートを流し込む鉄筋コンクリート造(RC造)に変更する。この構造形式の変更とこれに伴う建物床面積の縮小並びに内外装の仕様の変更で約6億5千万円減額する見込みである。このほか、建築設備の変更により、約1億5千万円減額する見込みである。

全体で約8億円を減額し、予算内に収まるよう設計の見直しを進めている。

清水エスパルスのJ1復帰を願って 議場がオレンジ色に染まりました!!

「サッカーを活かしたまちづくり」「ホームタウンチームを活かしたまちづくり」を目指す市として、清水エスパルスのJ1リーグへの復帰に向け、市民の皆さんからのさらなる応援の機運醸成を図っていききたいとの思いから、議員、市職員が清水エスパルスの歴代ユニフォームを着用して、2月22日の本会議に臨みました。



提出された陳情	精神障害者に対する他障害者並びに交通運賃割引を求める意見書採択に関する陳情	採 択
	こども医療費助成制度に関する陳情	不採択

2月定例会提出議案の会派別賛否一覧

2月定例会で審議した市長提出議案174件、議員提出議案5件、請願1件の審議結果は、次のとおりです。

(○=賛成、×=反対)

件名	会派名							議決結果		
	自民党	新公明	公明党	共産党	静新	山と町	緑の党			
27年度補正予算	一般会計(第5号)	○	○	○	×	○	○	○	可決	
	電気事業経営記念基金会計(第1号)/土地区画整理清算金会計(第1号)/母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計(第1号)/公債管理事業会計(第1号)/競輪事業会計(第2号)/国民健康保険事業会計(第2号)/簡易水道事業会計(第1号)/農業集落排水事業会計(第1号)/清掃工場発電事業会計(第1号)/駐車場事業会計(第1号)/介護保険事業会計(第3号)/介護保険サービス会計(第1号)/中央卸売市場事業会計(第1号)/後期高齢者医療事業会計(第2号)/病院事業会計(第2号)/水道事業会計(第1号)/下水道事業会計(第2号)/病院事業会計(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28年度当初予算	一般会計	○	○	○	×	○	○	○	可決	
	電気事業経営記念基金会計/土地区画整理清算金会計/母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計/公債管理事業会計/競輪事業会計/国民健康保険事業会計/簡易水道事業会計/農業集落排水事業会計/清掃工場発電事業会計/駐車場事業会計/介護保険事業会計/介護保険サービス会計/中央卸売市場事業会計/市立静岡病院事業債管理事業会計/病院事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	下水道事業会計	○	○	○	×	○	○	○	可決	
	水道事業会計	○	○	○	○	○	○	×	可決	
	後期高齢者医療事業会計	○	○	○	×	○	○	×	可決	
条例の制定	静岡市病院における専属の薬剤師の配置並びに人員及び施設の基準を定める条例/市町村から委託を受けて非常災害により生じた廃棄物の処分を行うための一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例/静岡市行政不服審査法等施行条例/行政不服審査法及び行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例/静岡市大規模小売店舗立地審議会条例/静岡市消費生活センターの組織及び運営に関する条例/静岡市創造及び交流によりまちの活力を生み出す文化の振興に関する条例/静岡市遠距離大学等通学費貸与条例/消防の広域化に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市地方独立行政法人静岡市立静岡病院への職員の引継ぎに関する条例	○	○	○	×	○	○	○	可決	
条例の改正	静岡市職員の給与に関する条例及び静岡市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例/静岡市特別職の職員の給与に関する条例/静岡市職員退職手当支給条例/静岡市環境影響評価条例/静岡市教育委員会教育長の勤務時間、休暇等に関する条例附則第2項の規定によりなおその効力を有するものとされた静岡市教育委員会教育長の給与等に関する条例/静岡市教育職員の給与に関する条例/静岡市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例/静岡市区の設置等に関する条例/静岡市自治基本条例及び静岡市市民参画の推進に関する条例/静岡市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例/静岡市証人等の実費弁償に関する条例/静岡市職員の給与に関する条例/静岡市職員の特殊勤務手当に関する条例/静岡市職員等の旅費に関する条例/静岡市職員退職手当支給条例/静岡市憲法記念基金条例/静岡市国民健康保険診療報酬支払準備基金条例/静岡市国民健康保険条例/静岡市生涯学習施設条例/静岡市屋外広告物条例/静岡市自家用有償旅客運送自動車条例/静岡市建築審査会条例/静岡市教育職員の給与に関する条例/静岡市立学校設置条例/静岡市火災予防条例/静岡市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例/静岡市手数料条例/静岡市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例/静岡市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例/静岡市指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例等/静岡市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例/静岡市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例/静岡市特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例/静岡市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例/静岡市指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市博物館条例/静岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例/静岡市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	×	○	○	○	可決	
	静岡市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	静岡市情報公開条例/静岡市個人情報保護条例/静岡市行政手続条例/静岡市職員定数条例/静岡市特別会計条例/静岡市病院事業の設置等に関する条例/静岡市立病院条例/静岡市立病院駐車場条例/静岡市立病院看護師等修学資金貸与条例/静岡市霊柩自動車利用条例/静岡市中央卸売市場業務条例/静岡市都市公園条例/静岡市自然の家条例/静岡市キャンプ場条例	○	○	○	×	○	○	×	可決	
	静岡市長職務執行者の給与及び旅費に関する条例/静岡市清水三保海の家条例/静岡市清水農村環境改善センター条例	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	静岡市老人デイサービスセンター条例	○	○	○	×	○	○	×	可決	
	静岡市中央福祉センター/静岡市心身障害児福祉センター「いこいの家」/静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター/静岡市湯/島温泉浴場/静岡市梅ヶ島新田温泉浴場/静岡市梅ヶ島コンヤの里レクリエーション施設/静岡市清水港船宿記念館/静岡市由比本陣施設/港国会館清水日の出センター/駿府城公園「東御門・巽櫓、坤櫓、日本庭園及び茶室」/静岡ヘリポート	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	静岡市民文化会館及び静岡市民文化会館前駐車場/静岡音楽館/静岡市東海道広重美術館/静岡市西ヶ谷総合運動場及び静岡市清水総合運動場/静岡市中央体育館、静岡市東部体育館、静岡市北部体育館、静岡市南部体育館、静岡市長田体育館、静岡市蒲原体育館並びに清水清見湖公園体育館、室内プール及びトレーニング室/静岡市城北運動場、静岡市清水長崎新田スポーツ広場、静岡市有度山総合公園運動施設テニスコート及び静岡市有度山総合公園運動施設ターゲットバードゴルフグラウンドゴルフ場/静岡市清水ナショナルトレーニングセンター、静岡市清水蛇塚スポーツグラウンド、静岡市清水庵原球場並びに清水日本平運動公園球技場及び庭球場/静岡市清水社会福祉会館及び静岡市清水中央老人福祉センター/静岡市老人福祉センター、静岡市老人憩の家及び静岡市世代間交流センター/静岡市桜の園(身体障害者福祉施設)、静岡市桜の園(重度障害者生活訓練ホーム)及び静岡市桜の園城北館/静岡市清水ひびきパーク、静岡市清水みなとふれあいセンター、静岡市清水なぎさホーム、静岡市清水うなばら学園、静岡市清水うしおパーク及び静岡市清水うみのこセンター/静岡市わらしなロッジ及び静岡市わらしな学園/静岡市東部勤労者福祉センター、静岡市工芸と歴史の体験施設「駿府匠宿」/静岡市ふれあい健康増進館	○	○	○	×	○	○	○	可決	
	損害賠償の額の決定(2件)/工事請負契約の締結(国)150号静岡ハイパス((仮称)中島高架橋)上部工事/工事委託契約の変更(安倍川駅自由通路及び橋上駅舎改築工事)/市道路線の変更(安西五丁目町二丁目1号線ほか1路線)/市道路線の認定(下野北8号線ほか9路線)/包括外部監査契約の締結/町の開設(麻機地区)/消防指令業務の事務委託の廃止に関する協議(4件(島田市、牧之原市、吉田町、川根本町))/消防事務の委託に関する協議(4件(島田市、牧之原市、吉田町、川根本町))/訴えの提起/静岡市及び焼津市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約/退職手当支給制限処分に係る審査請求	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	特定事業契約の締結(静岡市立北部学校給食センター)	○	○	○	×	○	○	○	可決	
人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	賛成		
静岡市副市長の選任	○	○	○	○	○	○	○	同意		
静岡市教育委員会委員の任命(2件)	○	○	○	○	○	○	○	同意		
静岡市農業委員会委員の任命(20件)	○	○	○	○	○	○	○	同意		
議員提出議案	静岡市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決		
	静岡市いのちを守る防災・減災の推進に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決		
	静岡市議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決		
	精神障害者の交通運賃割引に関する意見書	○	○	○	○	○	○	可決		
介護保険に関する意見書	×	×	×	×	×	×	○	否決		
請願	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書提出に関する請願	×	×	×	×	×	×	○	不採択	

4月臨時会で審議した市長提出議案3件の審議結果は、次のとおりです。

条例の改正	専決処分の報告及びその承認(静岡市幼保連携型認定こども園の学級の編成、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正)	○	○	○	×	○	○	○	可決
27年度補正予算	専決処分の報告及びその承認(平成27年度静岡市一般会計補正予算(第6号))	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他の議案	地方独立行政法人静岡市立静岡病院中期計画の認可	○	○	○	×	○	○	○	可決

自民党=自由民主党静岡市議会議員団(20人)、新公明(8人)、公明党=公明党静岡市議会(6人)、共産党=日本共産党静岡市議会議員団(5人)、静新(4人)、維新=日本維新の会静岡市議会議員団(2人)、山と町=「山と町」安全の会(1人)、緑の党=緑の党 Greens Japan(1人)

次回定例会のお知らせ

6月定例会は、6月21日からはじまります。日程は次のとおりです。

会期22日間

月/日/曜	会議名	場所
6月10日(金)	議会運営委員会	(第2委員会室)
14日(火)	議案説明会	(議場)
21日(火)	本会議	(議場)
27日(月)	議会運営委員会	(第2委員会室)
29日(水)	本会議(総括質問)	(議場)
30日(木)	本会議(総括質問)	(議場)
7月1日(金)	本会議(総括質問)	(議場)
5日(火)	厚生委員会	(第1委員会室)
	観光文化経済委員会	(第2委員会室)
6日(水)	都市建設委員会	(第3委員会室)
	総務委員会	(第1委員会室)
7月11日(月)	企業消防委員会	(第2委員会室)
	市民環境教育委員会	(第3委員会室)
7月12日(火)	議会運営委員会	(第2委員会室)
12日(火)	本会議	(議場)

※日程は変更になることがあります。(最新情報は、市議会ホームページでご確認ください。)
※議場・委員会室は市役所静岡庁舎本館にあります。

議員研修会

市議会では、議員の政策立案能力の一層の向上を目指して、議員研修会を実施しています。



2月3日、NPO法人ユースクリエイト代表の原田謙介氏を講師に迎え、「若者が参加したくなるまちづくり」と題した講演会を開催しました。

表紙の写真

「鎮守の楠」 萩原和幸氏(日本写真家協会会員)



撮影場所 但沼神社(清水区)(市指定景観重要樹木) 樹齢1000年の大楠、その姿の堂々たるや。この地をずっと見守ってきてくれたんだらうなあ…。 そんな尊敬の念を込めて、シャッターを切る。

次号「しずおか市議会だより(平成28年6月定例会号)」は平成28年9月1日発行予定です。

静岡市議会事務局

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

議会総務課 TEL 221-1158

議事課 TEL 221-1159

調査法制課 TEL 221-1481

(編集元) FAX 251-9213

静岡市議会ホームページアドレス

http://www.city.shizuoka.jp/000_000260.html

静岡市議会 検索

会派結成のお知らせ

平成28年5月1日付け、旧新政会及び旧静新の議員12名により、新たな会派「志政会(しせいかい)」が結成されました。

市議会だよりは古紙70%の再生紙を使用しています。



環境にやさしい バンタプリンキを使用しています。